



“地域のことは地域で考えよう”

2015年4月27日

## おきぎん県内景況・速報 2015年3月

— 県内景況は、拡大している —

### ■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を下回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、ビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回る。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)は上回る。

### ■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

## 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2015年3月分)

◎2015年3月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

3月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を下回りました。百貨店売上高は食料品や雑貨などが堅調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同月を下回りました。

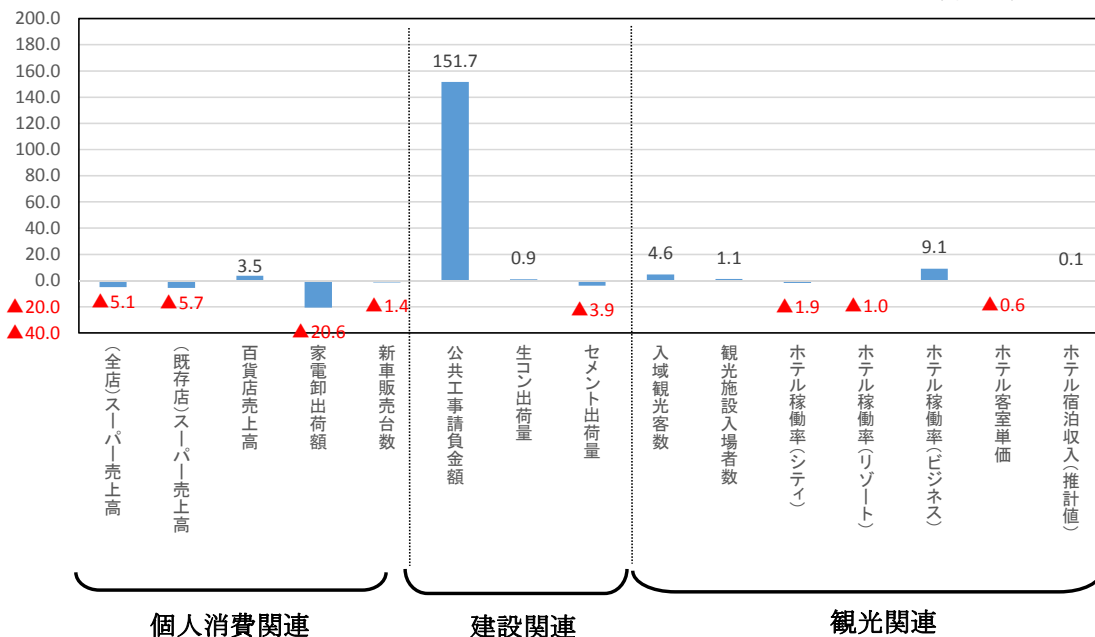
建設関連では、公共工事請負金額は、国や市町村発注の大型工事などで前年同月を上回りました。建設資材である生コンは前年同月を上回り、セメントは下回りました。

観光関連では、入域観光客数は30ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)は上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費において消費税増税に伴う駆け込み需要の反動等による影響がみられるが、建設関連や観光関連では堅調な動きが続いていることから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。(2014年2月の上方修正後から14ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位: %、ポイント)



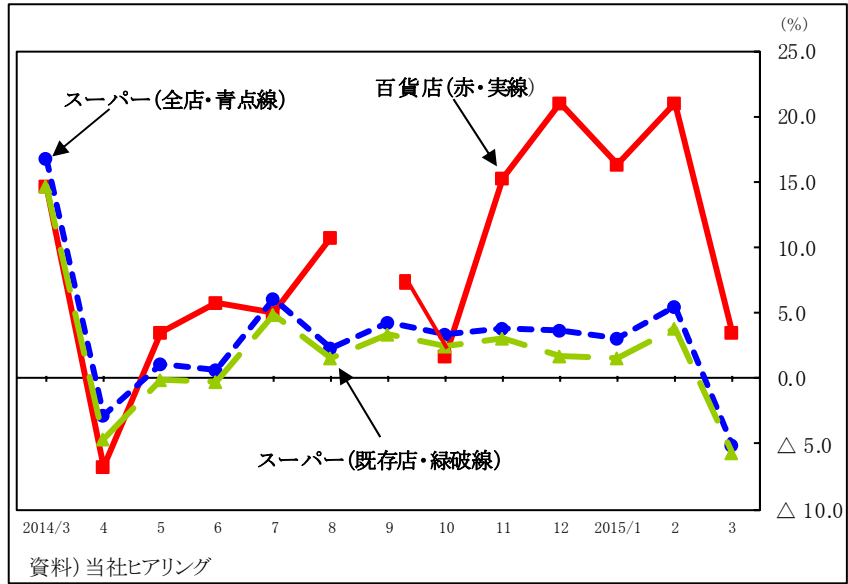


■個人消費：(やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を下回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2014/3	16.8	14.6	14.7
4	△ 2.8	△ 4.7	△ 6.8
5	1.1	△ 0.1	3.5
6	0.6	△ 0.2	5.7
7	6.1	4.8	5.0
8	2.3	1.5	10.8
9	4.2	3.4	<b>8.8</b>
10	3.4	2.4	<b>1.7</b>
11	3.8	3.0	<b>15.2</b>
12	3.6	1.7	<b>21.0</b>
2015/1	3.0	1.5	<b>16.3</b>
2	5.4	3.8	<b>21.0</b>
3	△ 5.1	△ 5.7	<b>3.5</b>



注1) 前年同月比

注2) 百貨店売上額については、2014年9月よりサンプル数の変更に伴い、8月までの数値と連続しないため、使用する際は注意する必要があります。

3月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「全店ベース(前年同月比 5.1%減)」が11ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。新規出店効果がみられたものの、ウェイトの高い「食料品(同 1.4%減)」を中心に消費税増税前の駆け込み需要の反動減などから、前年同月を下回りました。

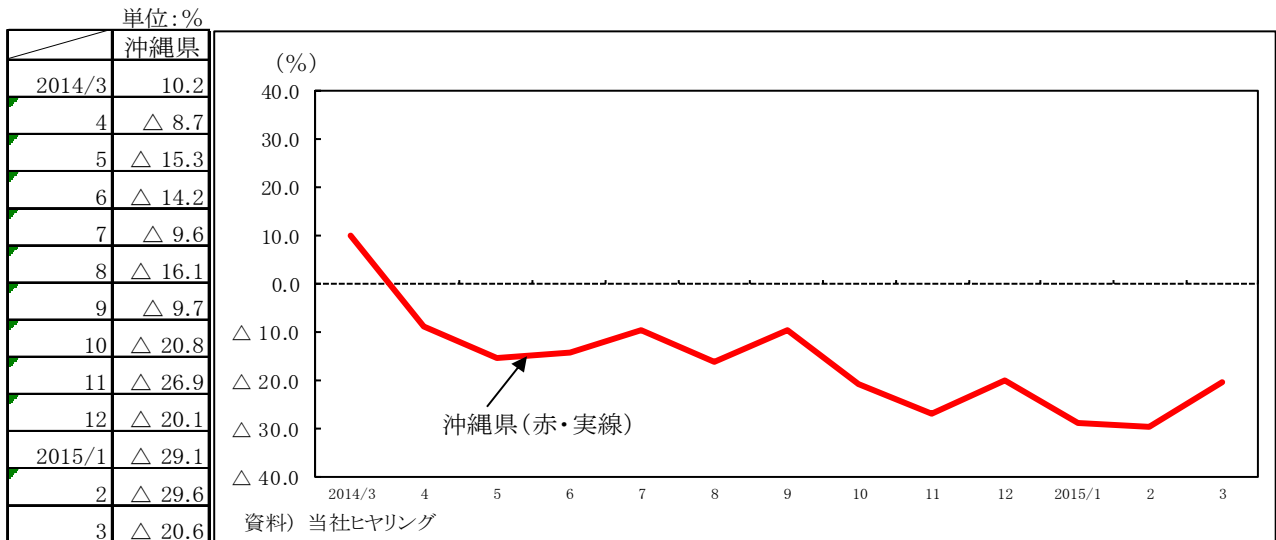
「**既存店ベース(同 5.7%減)**」は一部店舗の改装による集客効果がみられたものの、9ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 1.9%減)」は、生鮮全般(精肉・水産・青果)や缶詰、レトルト食品などで消費税増税前の駆け込み需要の反動減から、前年同月を下回りました。「衣料品(同 4.6%減)」は気温が低く推移したことから、夏物衣料の売れ行きが伸びず、前年同月を下回りました。家電を含む「家庭用品(同 17.6%減)」も訪日観光客向けの雑貨需要(化粧品、小物類など)がみられたものの、消費税増税前の駆け込み需要の反動減などから、前年同月を下回りました。

**百貨店売上高\***は全般的に消費税増税前の駆け込み需要の反動減がみられたものの、「食料品」や「雑貨」の売れ行きが堅調で前年同月を上回りました(同 3.5%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 2.0%減)」は紳士服の新規出店効果や販促強化による集客効果がみられたものの、主力商品の「婦人服(同 2.9%減)」の売れ行きが伸びず、前年同月を下回りました。「食料品(同 6.7%増)」は、一部フロアが改装期間であったものの、ギフト需要の増加や新規出店効果などから前年同月を上回りました。

また、「雑貨(同 18.2%増)」や「身の回り品(同 7.7%増)」では反動減がみられたものの、訪日観光客向けの売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。

\*百貨店売上高については、2014年9月分より調査手法変更(サンプル数が異なる)に伴い、8月分までの時系列データと連続していません。ご利用の際は、その点、ご留意頂けますようお願い申し上げます。

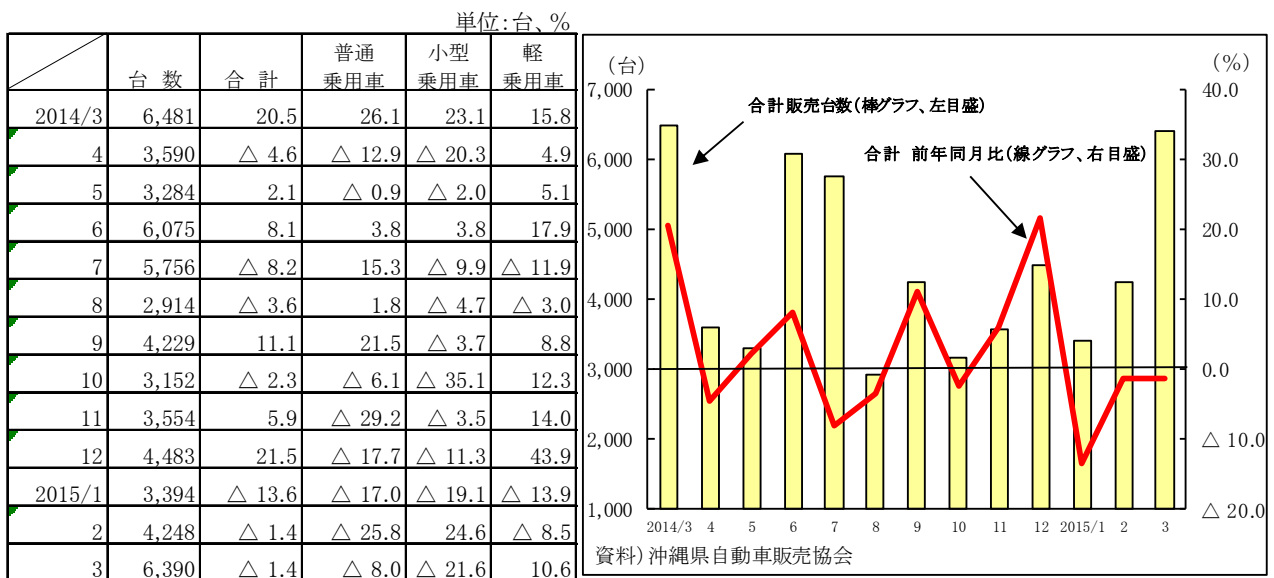
②家電卸出荷額…太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、継続的な太陽光パネルの売上減少に消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が加わり、12ヵ月連続で前年同月を下回りました(同20.6%減)。品目別でみると、「太陽光パネル(同58.0%減)」は新規接続中止の影響から売上減少が続いています。「テレビ(同12.4%減)」は4Kなどの新型モデルの売れ行きが低調で前年同月を下回りました。「エアコン(同3.3%減)」、「冷蔵庫(同28.4%減)」、「洗濯機(同31.8%減)」といった白物家電全般も、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などから、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などから、前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で 6,390 台(同1.4%減)となり、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などから3ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では「軽乗用車(同10.6%増)」が3ヵ月ぶりに上回ったものの、「普通乗用車(同8.0%減)」が6ヵ月連続、「小型乗用車(同21.6%減)」が2ヵ月ぶりに下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

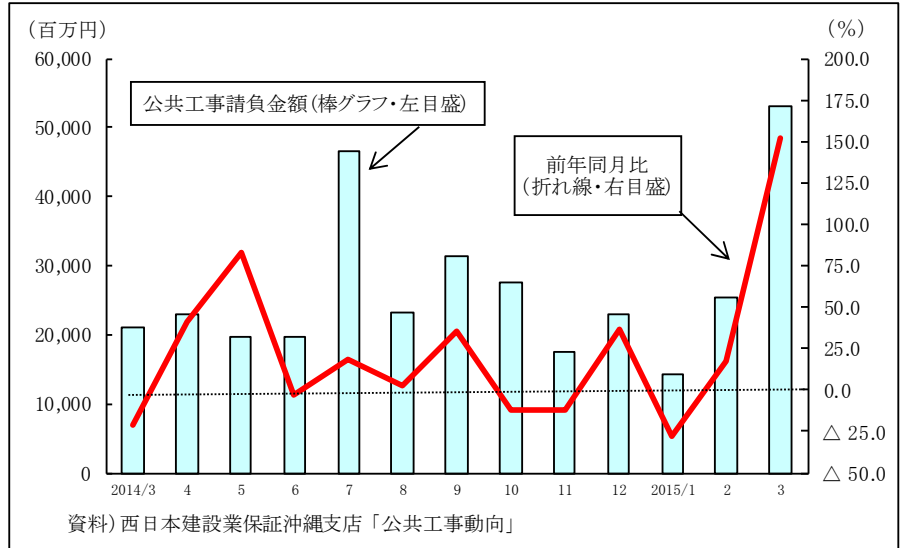


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2014/3	21,096	△21.6
4	22,973	41.3
5	19,683	83.2
6	19,751	△2.8
7	46,674	18.5
8	23,163	2.4
9	31,485	35.8
10	27,642	△11.8
11	17,512	△11.9
12	22,968	36.8
2015/1	14,359	△28.4
2	25,384	17.1
3	53,096	151.7

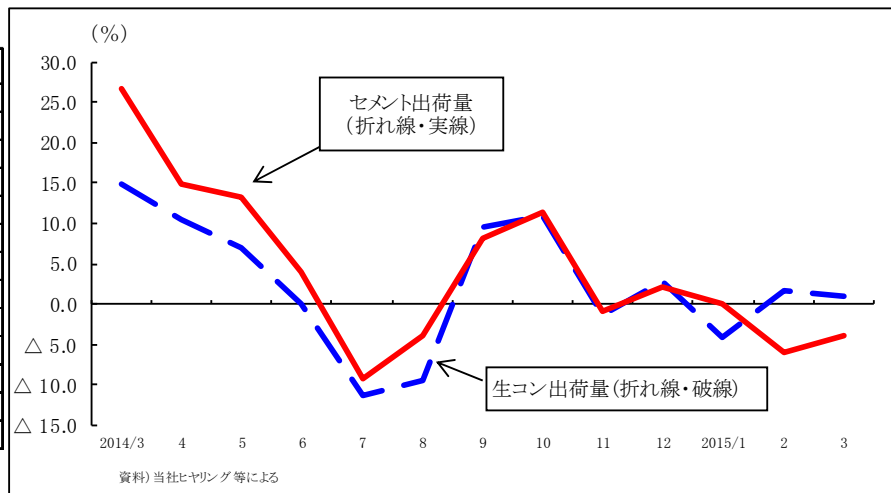


3月の**公共工事請負金額**は、前年同月比151.7%増の530億9,600万円となりました(2ヵ月連続増)。発注者別でみると、「独立行政法人等(同 21.9%減)」が前年同月を下回ったものの、「国(同 263.2%増)」がシュワブ関連工事や与那国駐屯地関連工事など、「沖縄県(同 58.9%増)」は宜野湾浄化センター関連工事、「市町村(同 205.5%増)」が市営住宅建替工事やダム関連工事、「その他の公共的な団体(同 17.6%増)」も前年同月を上回りました。

②建設資材…生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

単位:前年同月比(%)

	生コン	セメント
2014/3	r 15.0	26.8
4	r 10.3	14.9
5	r 7.0	13.2
6	r △0.1	3.9
7	r △11.2	△9.3
8	r △9.4	△3.9
9	r 9.6	8.2
10	10.8	11.4
11	△1.3	△1.0
12	2.7	2.2
2015/1	△4.2	△0.04
2	1.7	△6.0
3	0.9	△3.9

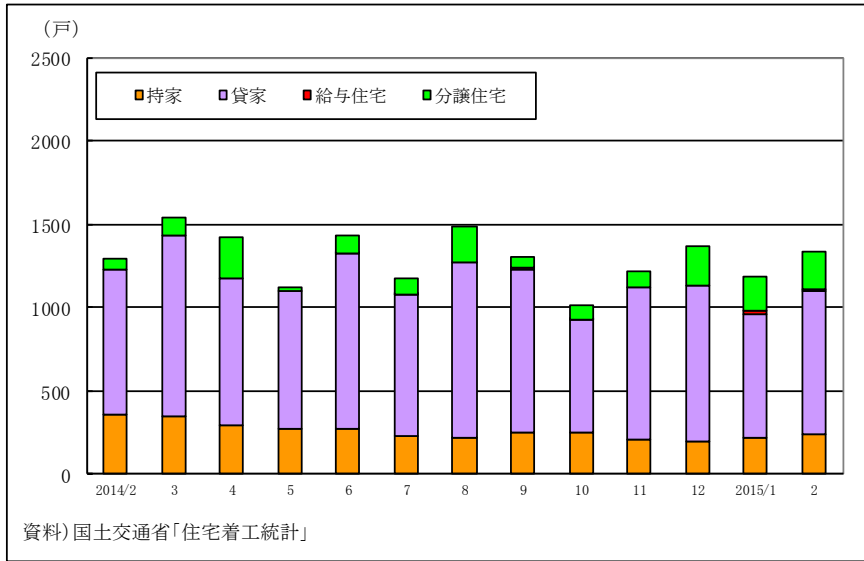


(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある  
(注2) 生コンデータは、9月より調査対象先を増やした為、遡及し修正している

**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は0.9%増加し、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より15.0%上回ったものの、民間工事向け出荷は6.7%下回りました。**セメント**の出荷量は3.9%減と3ヵ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(2月)…着工戸数は前年同月を上回る。

単位:戸、%		
	着工戸数	前年同月比
2014/2	1,298	11.7
3	1,540	39.6
4	1,418	36.2
5	1,116	25.0
6	1,432	34.1
7	1,172	△34.0
8	1,482	△5.3
9	1,301	△35.4
10	1,018	△35.6
11	1,216	△35.8
12	1,368	△4.8
2015/1	1,181	10.9
2	1,338	3.1



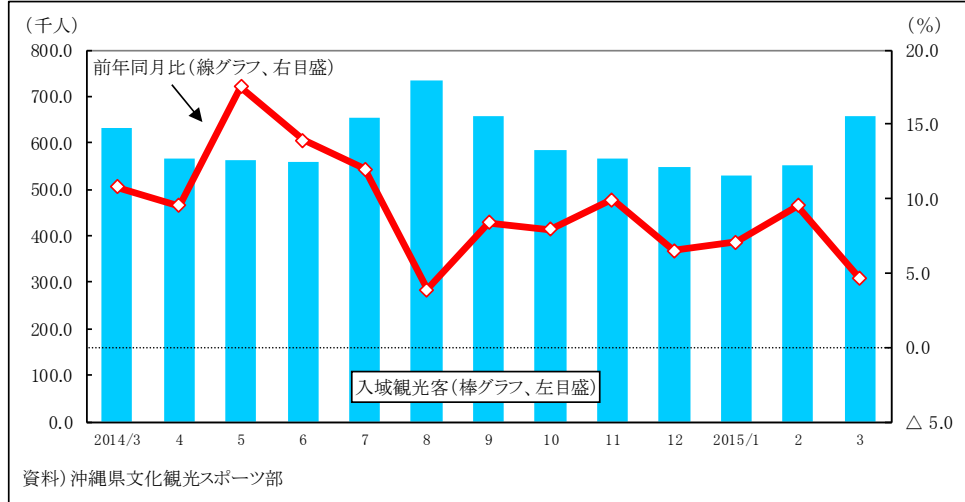
新設住宅着工戸数(2月)は、全体で前年同月比3.1%増の1,338戸と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウエイトの高い「貸家(同1.0%減)」や「持家(同32.7%減)」は前年同月を下回ったものの、「分譲住宅(同219.4%増)」が前年同月を上回りました。



■観光関連: (良い)

①入域観光客数(国内客・外国客の合計)…30ヵ月連続で前年同月を上回る。

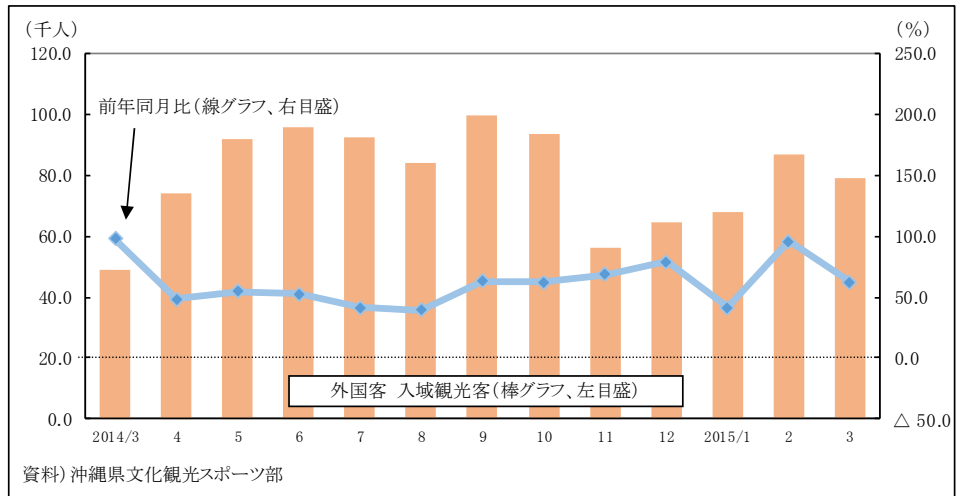
単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2014/3	630.2	10.8
4	565.6	9.5
5	561.4	17.5
6	557.3	13.9
7	653.9	12.0
8	733.3	3.9
9	658.7	8.4
10	586.0	7.9
11	564.5	9.9
12	549.2	6.5
2015/1	530.1	7.1
2	550.9	9.5
3	659.0	4.6



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…20ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2014/3	48.7	98.0
4	73.9	48.1
5	91.7	54.4
6	95.5	52.8
7	92.3	41.6
8	84.2	39.4
9	99.9	63.2
10	93.8	62.3
11	56.4	68.4
12	64.7	78.7
2015/1	67.9	41.2
2	86.7	95.7
3	79.0	62.2



※外国客は乗務員等を含む

3月の入域観光客数は、28,800人多い659,000人(前年同月比4.6%増)となり、30ヵ月連続で前年同月を上回りました。(3月としては過去最高)

内訳をみると、「国内客(同0.3%減)」は580,000人と、春休みの旅行需要などにより関西や福岡方面からの入込が好調であったものの、東京及び名古屋方面で一部の航空路線運休の影響が続いたことから、17ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

他方、「外国客(同62.2%増)」は、79,000人と20ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調であったことから、各方面からの入込が増加し、前年同月を上回りました。

「台湾(同46.4%増)」「韓国(同89.1%増)」「中国本土(同19.8%増)」「香港(同76.5%増)」

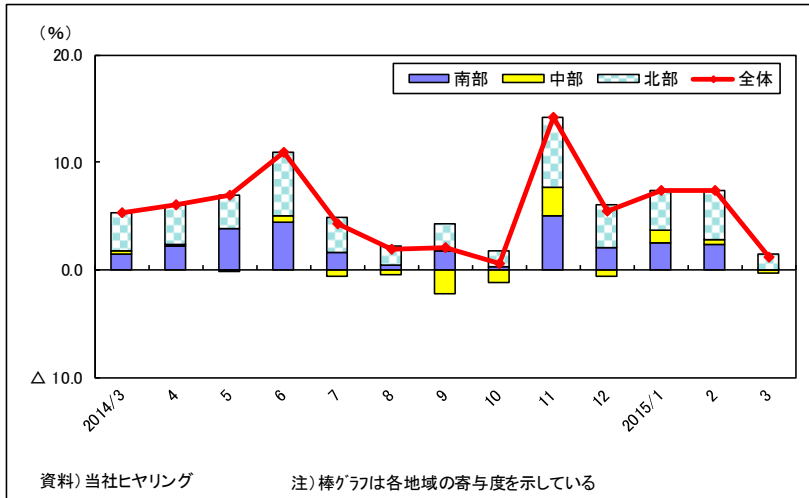
※乗務員等を除く2015年3月実績=全体653,600人(同4.1%増)、外国客73,600人(同59.7%増)、国内客は変わらない。



②観光施設入場者数…13ヵ月連続で前年同月を上回る。

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2014/3	5.3	r 3.8	1.2	8.0
4	6.0	5.5	1.7	7.8
5	7.0	9.6	△0.01	6.7
6	10.9	11.1	5.6	12.0
7	4.3	4.9	△4.6	6.0
8	1.8	1.3	△3.0	3.4
9	2.0	5.1	△16.6	4.8
10	0.6	0.7	△8.5	3.1
11	14.2	11.7	20.0	14.9
12	5.4	4.8	△4.0	9.0
2015/1	7.3	6.5	8.7	7.6
2	7.4	r 6.2	3.1	9.5
3	1.1	0.1	△2.2	2.9

\*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



資料) 当社ヒヤリング

注) 棒グラフは各地域の寄与度を示している

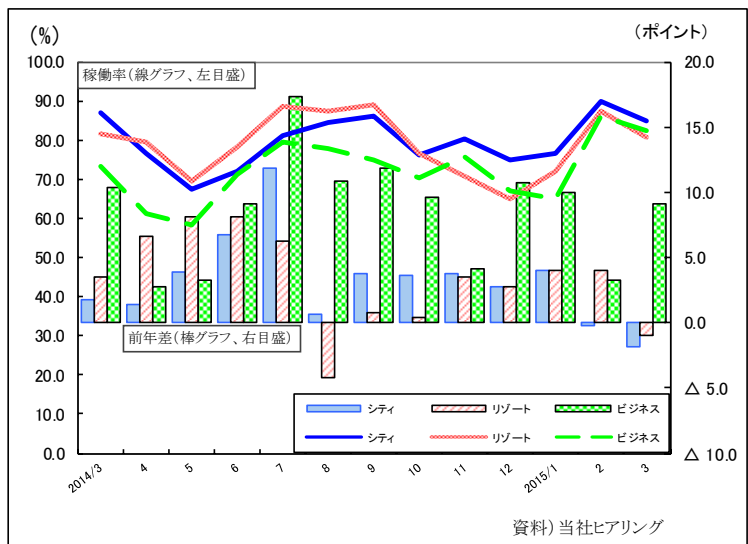
観光施設入場者数は、全体で前年同月より1.1%増加(13ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同0.1%増と17ヵ月連続、北部は同2.9%増と13ヵ月連続で前年同月を上回り、中部は同2.2%減と3ヵ月ぶりに下回りました。

③ホテル稼働率…ビジネスホテルは前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回る。

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2014/3	86.8	r 81.6	73.3	1.8	r 3.5	10.3
4	76.5	79.5	61.2	1.4	6.6	2.7
5	67.4	69.4	58.5	3.9	8.1	3.3
6	72.1	78.3	71.0	6.7	8.1	9.1
7	81.2	88.4	79.3	11.8	6.3	17.3
8	84.4	87.5	77.6	0.6	△4.2	10.9
9	86.0	88.8	75.1	3.7	0.8	11.8
10	76.3	76.6	70.2	3.6	0.4	9.6
11	80.4	70.6	75.7	3.8	3.5	4.1
12	75.1	64.8	67.1	2.7	2.8	10.7
2015/1	76.4	72.0	65.1	4.0	4.0	10.0
2	89.7	87.4	86.1	△0.2	4.0	3.2
3	84.9	80.6	82.4	△1.9	△1.0	9.1

注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



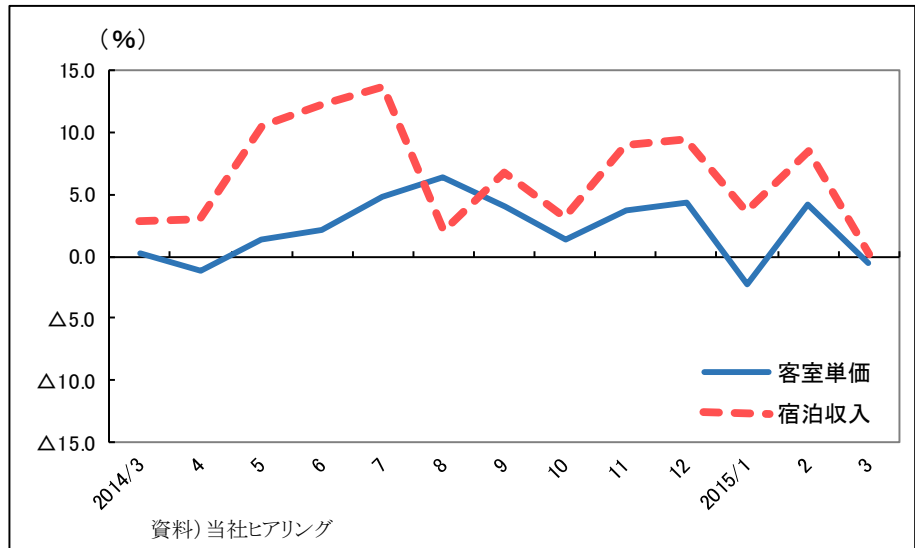
資料) 当社ヒヤリング

県内ホテル稼働率は、シティホテルが84.9%と1.9ポイント下落(2ヵ月連続)、リゾートホテルが80.6%と1.0ポイント下落(7ヵ月ぶり)、ビジネスホテルが82.4%と9.1ポイント上昇(17ヵ月連続)しました。



④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入は上回る。

単位:%		
	客室単価	宿泊収入
2014/3	r 0.2	r 2.9
4	△1.2	3.0
5	1.3	10.5
6	2.1	12.2
7	4.8	13.6
8	6.3	2.1
9	4.0	6.8
10	1.4	3.2
11	3.7	9.0
12	4.3	9.4
2015/1	△2.3	3.6
2	r 4.1	r 8.5
3	△0.6	0.1



※対象施設数:29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

※2014年4月指標より新たに掲載

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比 0.6%減と前年同月を下回り、**宿泊収入**は同 0.1%増と前年同月を上回りました。

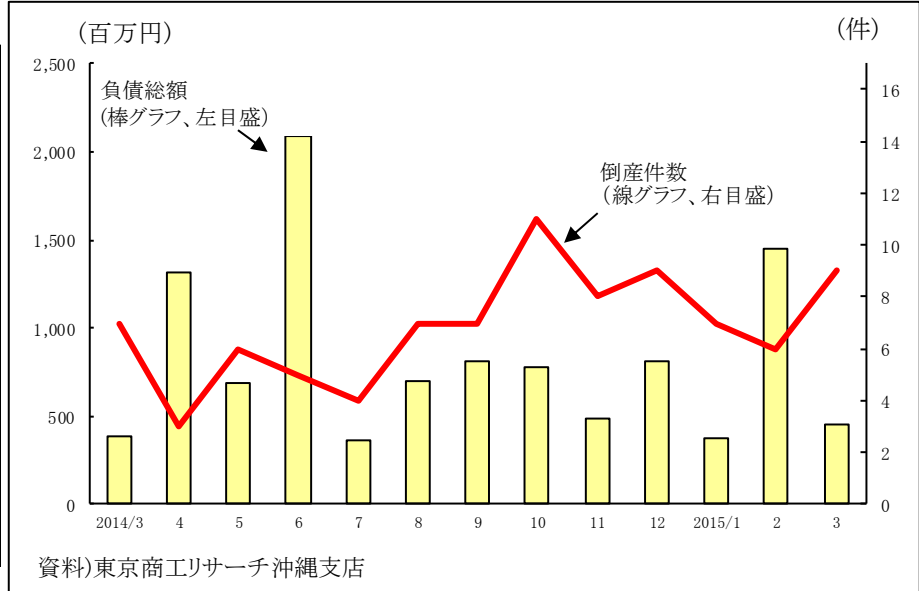


■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2014/3	386	7
4	1,314	3
5	683	6
6	2,090	5
7	361	4
8	697	7
9	808	7
10	774	11
11	487	8
12	806	9
2015/1	375	7
2	1,453	6
3	451	9



3月の**企業倒産件数**は、9件(うち、1億円以上の大口倒産1件)発生し前年同月より2件多く、負債総額は4億5,100万円と16.8%増加しました。

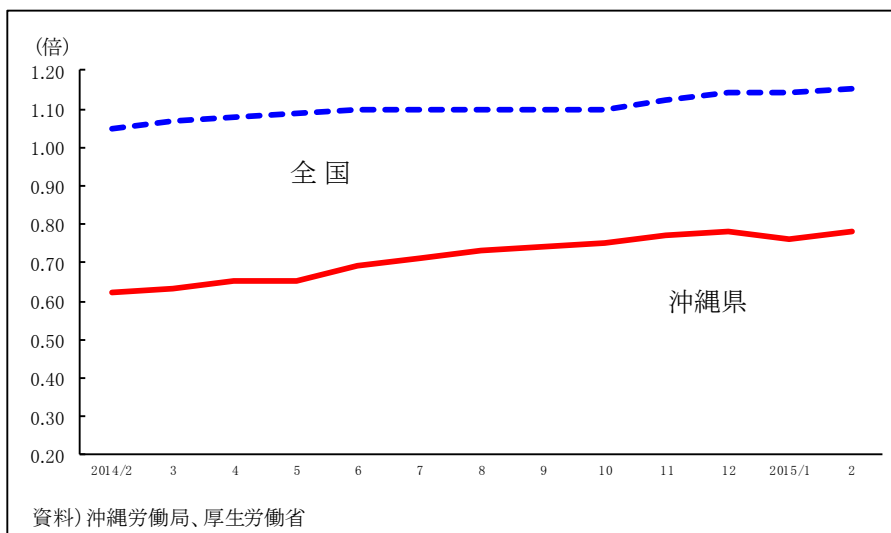


【参考】雇用関連: (やや良い)

(参考)有効求人倍率(2月)…前月より上昇。

単位:倍

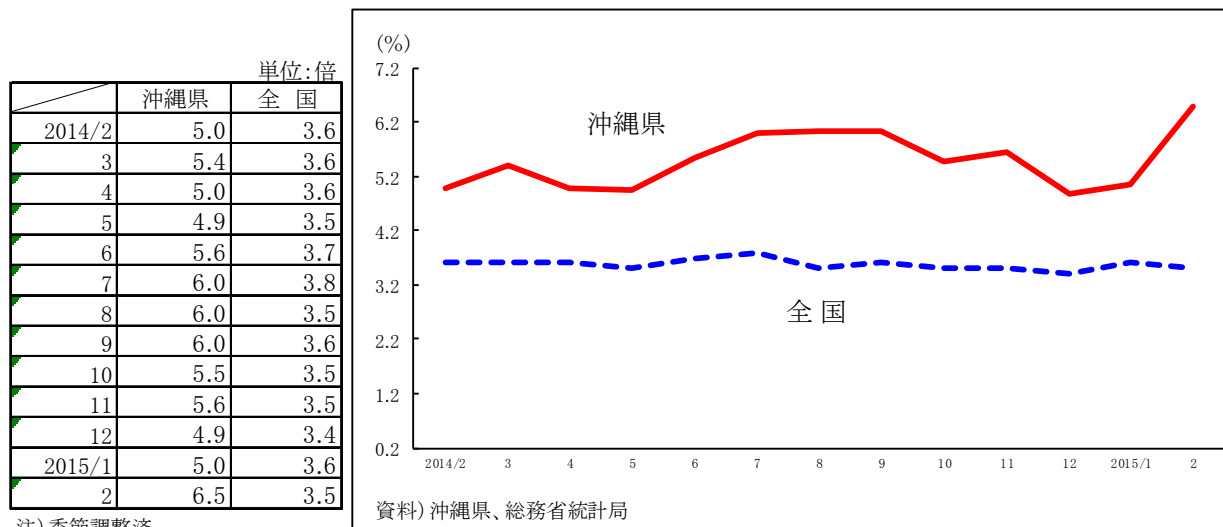
	沖縄県	全国
2014/2	0.62	1.05
3	0.63	1.07
4	0.65	1.08
5	0.65	1.09
6	0.69	1.10
7	0.71	1.10
8	0.73	1.10
9	0.74	1.10
10	0.75	1.10
11	0.77	1.12
12	0.78	1.14
2015/1	0.76	1.14
2	0.78	1.15



注) 季節調整済  
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

2月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比1.1%増の22,825人に対して、月間有効求職者数(同上)は同0.4%減の29,416人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.78倍となり前月より0.02ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(2月)…前月より上昇。



注) 季節調整済

2月の完全失業率(季節調整値)は、6.5%となり前月より1.5ポイント上昇しました。